2022年1月2日 聖日礼拝

インターネットの礼拝映像配信は、11時から視聴できます。

聖使礼交主会会主実 後 祝頌献会 説 7 招前 1 衆 衆 報 書 徒 拝 の 月 上を求り **小賛美** な 喾 朗信祈 祈 替 2 読条祷読 日 奏 祷栄金美 教 ŋ 天神聖が入れ、 が 聖 聖 感 聖 教 7 詩 は 一 の 歌 だ 。 日 謝 会 歌 歌 タ 篇 セ 正 礼 耕 祈 3 イ 9 ア 1 義 の書 祷 7 集 6 6 アー 地を 6 0 う 18福 神 6 0 篇 $\widehat{1}$ 種 10 関拓、章の : の義を 人 荻 1 メン 章 野 5 1 々 (1 ź 반
호
12
泰 6 (2 弘 節 1 節 誠 牧 20 今 実 師 口 餰 がの

■聖歌36「ながまことは大いなり」

- ①ながまことは大いなり 頼む神は君のみ 変わらぬ なが愛の手に 支えらるる命ぞ
- ※ながまことは大いなれば 朝(あした)ごとに ほめうとう 恵み日々に豊かなり 御顔(みかお)つねに さやけし
- ②季節ごとに花ひらき 星は空の道ゆく 御神(みかみ)の手の くしわざを もの みな ほめ歌えり
- ③罪赦され 安きうけ 導き得て 喜び ちからに満ち 悪に勝ち 糧(かて) は つねに ゆたけし

■神の国と神の義を

神の国と神の義を まず求めなさい そうすればみな与えられる ハレル ハレルヤ

■主の祈り 天にましますわれらの父よ。ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。御国をきたらせたまえ。御記の天になるごとく、地にもなさせたまえ。われらの目用の糧を今日もあたえたまえ。われらに罪をおかすものを われらが 赦すごとく、われらの罪をも赦したまえ。われらを こころみにあわせず 悪より救いいだしたまえ。国と力と栄えとは かぎりなく なんじのものなればなり。アーメン

■交読 詩篇96篇1~13節

- 新しい歌を主に歌え。
 全地よ 主に歌え。
- 2 主に歌え。御名をほめたたえよ。日から日へと 御救いの良い知らせを告げよ。
- 3 主の栄光を国々の間で語り告げよ。 その奇しいみわざを あらゆる民の間で。
- 4 まことに主は大いなる方 大いに賛美される方。 すべての神々にまさって恐れられる方だ。
- 5 まことに どの民の神々も みな偽りだ。 しかし主は天をお造りになった。
- 6 威厳と威光は御前にあり 力と輝きは主の聖所にある。

■使徒信条 われは天地のつくりぬし、全能の父なる神を信ず。われはそのひとりご、われらの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤよりうまれ、ポンテオ・ピラトのもとにくるしみをうけ、十字架につけられ、死にてほうむられ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり。かしこよりきたりて 生けるものと死にたるものとを さばきたまわん。われは聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒のまじわり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえのいのちを信ず。アーメン

■聖書朗読 マタイの福音書 18章1~20節

- 1 そのとき、弟子たちがイエスのところに来て言った。「天の御国では、 いったいだれが一番偉いのですか。」
- 2 イエスは一人の子どもを呼び寄せ、彼らの真ん中に立たせて、
- 3 こう言われた。「まことに、あなたがたに言います。向きを変えて子ど もたちのようにならなければ、決して天の御国に入れません。
- 4 ですから、だれでもこの子どものように自分を低くする人が、天の御国 で一番偉いのです。
- 5 また、だれでもこのような子どもの一人を、わたしの名のゆえに受け入れる人は、わたしを受け入れるのです。
- 6 わたしを信じるこの小さい者たちの一人をつまずかせる者は、大きな石

臼を首にかけられて、海の深みに沈められるほうがよいのです。

- 7 つまずきを与えるこの世はわざわいです。つまずきが起こるのは避けられませんが、つまずきをもたらす者はわざわいです。
- 8 あなたの手か足があなたをつまずかせるなら、それを切って捨てなさい。 片手片足でいのちに入るほうが、両手両足そろったままで永遠の火に投 げ込まれるよりよいのです。
- 9 また、もしあなたの目があなたをつまずかせるなら、それをえぐり出して捨てなさい。片目でいのちに入るほうが、両目そろったままゲヘナの火に投げ込まれるよりよいのです。
- 10 あなたがたは、この小さい者たちの一人を軽んじたりしないように気をつけなさい。あなたがたに言いますが、天にいる、彼らの御使いたちは、天におられるわたしの父の御顔をいつも見ているからです。
- 11 ※後代の写本に十一節として〔人の子は、失われている者を救うために 来たのです。〕を加えるものもある
- 12 あなたがたはどう思いますか。もしある人に羊が百匹いて、そのうちの 一匹が迷い出たら、その人は九十九匹を山に残して、迷った一匹を捜し に出かけないでしょうか。
- 13 まことに、あなたがたに言います。もしその羊を見つけたなら、その人は、迷わなかった九十九匹の羊以上にこの一匹を喜びます。
- 14 このように、この小さい者たちの一人が滅びることは、天におられるあ なたがたの父のみこころではありません。
- 15 また、もしあなたの兄弟があなたに対して罪を犯したなら、行って二人 だけのところで指摘しなさい。その人があなたの言うことを聞き入れる なら、あなたは自分の兄弟を得たことになります。
- 16 もし聞き入れないなら、ほかに一人か二人、一緒に連れて行きなさい。 二人または三人の証人の証言によって、すべてのことが立証されるよう にするためです。
- 17 それでもなお、言うことを聞き入れないなら、教会に伝えなさい。教会 の言うことさえも聞き入れないなら、彼を異邦人か取税人のように扱い なさい。
- 18 まことに、あなたがたに言います。何でもあなたがたが地上でつなぐことは天でもつながれ、何でもあなたがたが地上で解くことは天でも解かれます。
- 19 まことに、もう一度あなたがたに言います。あなたがたのうちの二人が、 どんなことでも地上で心を一つにして祈るなら、天におられるわたしの 父はそれをかなえてくださいます。
- 20 二人か三人がわたしの名において集まっているところには、わたしも その中にいるのです。 |

■聖歌160「キリスト・イエスを基として」

- ①キリスト・イェスを もといとして うち建てられし み教会は きみが血をもて かいたまいし 花嫁たちの 集まりなり
- ②言葉に色に ちがいあれど 御民 (みたみ) の拝む 主ひとりなり ひとつに生まれ ひとつに伸び ひとつに食し ひとつに生く
- ■頌栄 聖歌376「父 御子 御霊の」

父 御子 みたまの おおみかみに とこしえかわらず 御菜えあれ 御菜えあれ アーメン

【自宅での礼拝の手引き】

- ・招詞 招詞を読みます
- ・賛美 歌います
- ・主の祈り 主の祈りを祈ります
- ・交読 交読箇所を読みます
- ・礼拝祈祷 次の言葉を祈りましょう

「天の父なる神様。今、あなたの御前で礼拝をささげられることを感謝します。兄弟姉妹と場所は異なりますが、心を一つにして礼拝をささげます。主の臨在を、今、ここに現してください。私たちの救い主、イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン

- ・使徒信条 使徒信条を告白します
- ・聖書朗読 聖書朗読箇所を読みます
- ・説教 聖書朗読箇所を思い巡らしましょう
- **・賛美** 歌います
- ・献金 主から受けたものの中で私がささげられるものや分かち 合えるものは何か思い巡らしましょう。それをささげな がら歩めるように主の助けを祈りましょう。
- ・頌栄 頌栄をささげます
- ・祝祷 心の中で祝祷を読み、最後に「アーメン」と告白しましょう 「願わくば 主イエス・キリストの恵み 父なる神の愛 聖霊の親しい交わりが教会員一同の上に とこしえにありますように アーメン |